

# こんにちは

日本共産党・市議会議員

議会  
報告



# 田中光明

です

決算  
議会

## 子ども医療遅れている

北九州市の子ども医療費の通院助成は小学校卒業までと、全国的に大きく遅れています。中学卒業まで実施している自治体は全国の86%、政令市は20市のうち12市、隣接自治体は10市町のうち8市町です。

市長は「多額の予算がいる。国・県に補助の増額を求める」と、市民の願いに背を向けています。

「国や県の補助が増えるまでやらないのか。市長は決断すべきだ」「必要な予算は年間3億円。

新スタジアムの借金返済と維持管理に3.4億円使っている。無駄遣いを止めればできる」と実現を強く求めました。

一部負担金は1か月当たり3歳以上就学前までが500円、小学生が1200円。全国は「自己負担なし」が84%。廃止するように求めました。



## 35人超が230クラス



35人を超える学級は小学校4～6年で86クラス、3206人、中学2・3年は144クラス、5467人。合計230クラス、8673人の児童、生徒が35人を超えるクラスで授業を受けています。35人以下学級を増やすべき」と求めました。

## 「働く貧困層」なくせ

市の仕事をしている民間の労働者の実態は、最低賃金(福岡県は時給814円)や、設計労務単価を大幅に下回る賃金が横行しています。最低賃金では生活できません。「公契約条例制定で、市の仕事をする労働者の賃金の引き上げを」と求めました。



## 無料法律・生活相談

### 要予約。生活相談は訪問も可。

相続、離婚、生活苦、雇用、借金、介護、行政への要望など何でも。

#### ①無料法律相談…18:30～予約制

- 第1・3水曜日…三ヶ森4-10-3
- 第2・4水曜日…町上津役東1-7-23
- 受付

- ・ 平日 10:00～17:00
- ・ 当日 午後3時締切

☎ 093-613-5884

- 弁護士がお聞きします。

#### ②無料生活相談…随時行い、訪問もします。

田中市議がお聞きします。

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2018・11・1  
No.538

# 9月議会の論戦で 浮き彫りになった北九州市の課題

9月議会は、本会議質問24人中13人が7月豪雨対策について取り上げました。  
また、北橋市長の3期目最後の決算であり、市長の政治姿勢が問われる議会議論戦となりました。

## 7月豪雨対策 土砂災害の復旧と予防対策を

北九州市の7月豪雨被害は、死者2人、住宅被害424戸、がけ崩れ278箇所です。

これまで私有地の土砂撤去に市の支援はありませんでしたが、今回初めて実施され、被災者への郵送による制度の周知が行われました。

今回、土砂災害の防災ががけ崩れ対策で国の激甚指定を含む40箇所の事業が検討され一歩前進ですが、238箇所は対象外です。また、急傾斜地危険地域が836箇所あり、予防対策が急務です。



門司区羽山

## 井筒屋黒崎店、コレットの閉店—「市への相談はなかった」



市内唯一の百貨店閉店について、市はマスコミ発表まで知らされなかったといえます。2店舗の従業員1868人、テナント420店に影響が出ます。地域経済へ及ぼす問題だけに、市への情報・相談がなかったことは残念です。  
日本共産党市議団は、8月3日、地域経済影響等の調査や再就職あっせん、緊急相談窓口の設置等を市長へ申し入れました。

# 市長の本気度が問われています

### 子ども医療



#### ◎通院でも中学卒業まで

子育てで日本一を標榜する北九州市ですが、子ども医療で遅れた自治体となっています(下表)。通院で中学卒業までの費用は3億円です。スタジアムの赤字と借金返済に3億4千万円投入し、優先すべき事業が逆立ちしています。

### 商店応援



#### ◎高崎市を学んで

北九州市の空き店舗対策は、群馬高崎市の商店リニューアル助成制度と比べて、年間の実施件数は3%以下で、金額でも1.6%と、北九州市の中小企業・商店への支援の遅れは重大です(下表)。

### 交通対策



#### ◎おでかけ交通では限界

本市のお出かけ交通は、全路線が赤字で、事業者も負担するため、運賃上げと客離れ・路線廃止の悪循環に陥り破たん状態です。  
公共交通のバス停までが遠く、急な坂道など移動が困難な高齢者へ、本市独自のタクシース券などの補助制度の創設を求めました。

### 子ども医療の状況 (通院で中学卒業まで)

|       |           |
|-------|-----------|
| 全 国   | 86%が実施    |
| 政 令 市 | 20政令市中12市 |
| 周辺自治体 | 10市町中8市町  |

### 商店応援のちがいを

|                       | 商店支援制度                             | 5年間の平均 |        |
|-----------------------|------------------------------------|--------|--------|
| 北九州市<br>(空き店舗補助)      | 家賃補助は家賃の1/2(1年のみ)又は改装費の1/2で75万円以内  | 15件    | 566万円  |
| 高崎市<br>(商店リニューアル助成制度) | 小売、サービス、飲食店の改装費、備品購入双方の1/2で100万円以内 | 502件   | 3億6千万円 |

## 北橋市長の「公約やぶり」いいのでしょうか!



2007年市長選挙のチラシ

2007年市長選挙時の3大公約「採算の取れない大型箱モノへの税金投入はやめす」「市長退職金の廃止」は、すでに破られました。スタジアム建設に115億円、破綻したひびきコンテナターミナルの買い取りに40億円を投入。退職金辞退は1期目のみです。前市長の多選批判から「任期は3期まで」は、4期目が報道される中、本会議での我が党議員の質問に、まともな答弁はありませんでした。

## 提案

### ●危険なブロック塀の改善を

道路に面した高さ1m以上の危険なブロック塀の除却等への補助制度が全国で広がっています。横浜市では、除去費用の9割助成、軽量フェンス工事費の5割助成で合計30万円を限度に補助。本市は5割助成で12万円の上限の除去費用だけです。党市議団は、補助率・額の引き上げと、新たにフェンス等設置の助成を求めました。

### ●旧門司競輪場跡地の民間売却はストップを

門司競輪場跡地を活用した公共施設再配置は、スポーツ施設の集約、公園の整備、民間売却によるマンション(100戸)戸建て30軒建設の居住ゾーンの計画です。党市議団は、市民説明会では民間売却反対が圧倒的で、こうした声を活かし、住民のための活用策を求めました。

### ●地震対策—家具固定を

党市議団は、地震から身を守る家具固定の普及促進するために、住宅と事業所等を家具固定の状況把握と普及目標を設けるよう求めました。また、市庁舎の家具・什器類の固定率が不明であり、災害時の拠点としての脆弱性が放置されている問題を指摘しました。

### ●八幡市民会館の文化的建築物の調査を

市は八幡市民会館を埋蔵文化財センターとして活用する考えを示しました。党市議団は、ドコモモジャパン等の協力も得て、歴史と文化的建築的価値の調査を求めました。市は「記録を残すことを念頭に調査を検討」にとどまりました。

## 主な意見書に対する会派の態度

新スタジアム  
赤字と借金返し  
毎年3億4千万円  
投入



|  | 提案会派     | 共産党<br>10人 | 自民党<br>21人 | 公明党<br>13人 | 北九<br>11人 | あふ<br>1人 | 希望と<br>未来<br>1人 | 賛否 |
|--|----------|------------|------------|------------|-----------|----------|-----------------|----|
| キャッシュレス社会の実現を求める意見書                    | 公明党      | ×          | ○          | ○          | ○         | ×        | ×               | 可決 |
| 女性差別をなくし、等しく教育を受ける権利、職業を選ぶ権利の保障を求める意見書 | ハートフル北九州 | ○          | ×          | ×          | ○         | ○        | ○               | 否決 |
| 普天間基地の即時閉鎖と撤去及び辺野古への米軍新基地の建設の中止を求める意見書 | 共産党      | ○          | ×          | ×          | ×         | ○        | ○               | 否決 |
| 障害者雇用率の水増し問題の徹底究明と防止対策を求める意見書          | 共産党      | ○          | ×          | ×          | ○         | ○        | ○               | 否決 |
| 水道法改正案に反対する意見書                         | 共産党      | ○          | ×          | ×          | ×         | ×        | ○               | 否決 |

## 若戸大橋・トンネル

# 無料化 12/1 スタート

## 56年間の 市民の悲願実る！



日本共産党は、1962年開通した直後から「若戸大橋は生活道路！通行料は無料に」と訴え続けて56年になります。一貫して市議会で追及し、1989年には「若戸大橋の無料化を求める会」をはじめ市民のみなさんと一緒に裁判まで行ってきました。

また、若戸大橋の無料化を求める市議会への請願・陳情に対して賛成してきたのは日本共産党だけでした。1999年9月議会で、「若戸大橋を市が買い取り、新トンネルとの一元管理で料金を半額程度に引き下げる」ことを提案し無料化への第一歩を踏み出しました。こうした住民との共同をねばり強くすすめる中、2009年ごろから若松区選出の全議員が無料化を訴え、ついに12月1日から、若戸大橋・トンネル通行料が無料化されます。市民の悲願がようやく実現することになりました。

## 海外視察の廃止を提案・決定



10月2日10人全員で議長に申し入れ



党市議団は、市民所得が低迷し、介護保険料の引き上げなど市民生活の深刻さを増す中、海外視察は自粛するよう提案してきました。党市議団は、10月2日、議長に対し「議員の海外視察は、2019年度から廃止」と「特定の重要課題について外国の先進事例を調査・研究することが必要である場合は、議会としてその都度協議し決定すること」を申し入れました。10月5日、海外視察の報道がされ、多くの批判の声が上がっています。市民からの批判を受け、他の3党派も廃止を表明。市議会として慣例的な海外視察の廃止を決めました。

## 日本共産党 先進都市を視察して、本会議質問しました

日本共産党北九州市会議員団は、進んだ自治体の取り組みを学ぶために視察し、北九州市政に活かすために、議会で提案をおこなっています。2010年には、福島県いわき市を訪問して、地元の工務店や建設職人が元気になっている住

宅リフォーム助成制度を学び、他の党派と協力して実現しました。

今年も新潟市の幹線・支線・生活路線を連携した交通政策を学び、議会で取り上げました。市の担当部局も視察を検討しています。